

科目名	<b>経営学基礎論</b>	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修	■ 選択
			国際学科	□ 必修	■ 選択
英文表記	<b>Introduction of Management</b>	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	いしかわ まさはる	実務家教員担当科目	○	修得単位	2 単位
担当者名	石川 雅敏	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	企業経営を理解するために、経営学の基礎的な知識について幅広く学ぶ。				
到達目標	<p>社会人として求められる企業経営に関する基礎的な知識を修得します。 この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。</p> <p>1) 企業経営に関する基礎知識を修得できる。 2) 産業界の経営上の用語を理解できる。</p>				
授業概要	<p>経営学の入門書を用いて経営学に関する基礎知識を幅広く解説します。 1回の講義において、原則として教科書を1章ずつ解説しながら授業を進めます。 ポータルサイトへ掲示したパワーポイントの講義資料を用いて授業を行います。</p>				
授業計画					
第1回	イントロダクション				
第2回	企業と経営				
第3回	企業の目的と経営者の役割				
第4回	企業形態と組織の選択				
第5回	経営戦略1				
第6回	経営戦略2				
第7回	マーケティング1				
第8回	マーケティング2				
第9回	労働と組織の管理				
第10回	経営管理と組織1				
第11回	経営管理と組織2				
第12回	財務諸表を学ぶ				
第13回	財務と会計				
第14回	企業価値と投資計算				
第15回	まとめ				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	<p>1. 授業前に教科書の該当箇所必ず目を通す。分からない用語は調べてノートにまとめる。(1時間程度)</p> <p>2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通し、経済の動きに親しむ。(0.5時間程度)</p>				
履修条件 受講のルール	<p>遅刻は5分以内まで。それ以上は出席と認めません。</p> <p>いかなる理由でも5回以上欠席したら期末試験は受けられません。履修取消しです。</p> <p>毎回質問を出します。必ず出席カードに答えを記入して提出下さい。</p> <p>私語・スマホは厳禁です。</p>				
テキスト	「入門経営学」(第3版) 亀川雅人、鈴木秀一著、新世社(2011)				
参考文献・資料	講義資料(Power Point 資料)はポータルサイトに掲載します。 各自でダウンロードして、PCまたはタブレットで閲覧しながら、講義を聞いてください。				

成績評価の方法	毎回の質問に対する回答の提出（50%）、定期試験（50%） ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	毎週火曜日・金曜日 13:00～15:00 *これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	自身の会社経験や日本経済新聞の記事を用いて、ビジネス事例を説明します。
学生へのメッセージ	ビジネスは不確実性が伴い、応用が求められますが、それは基礎的知識の理解の上で成り立つものです。ビジネスの基礎の基礎を学びましょう。